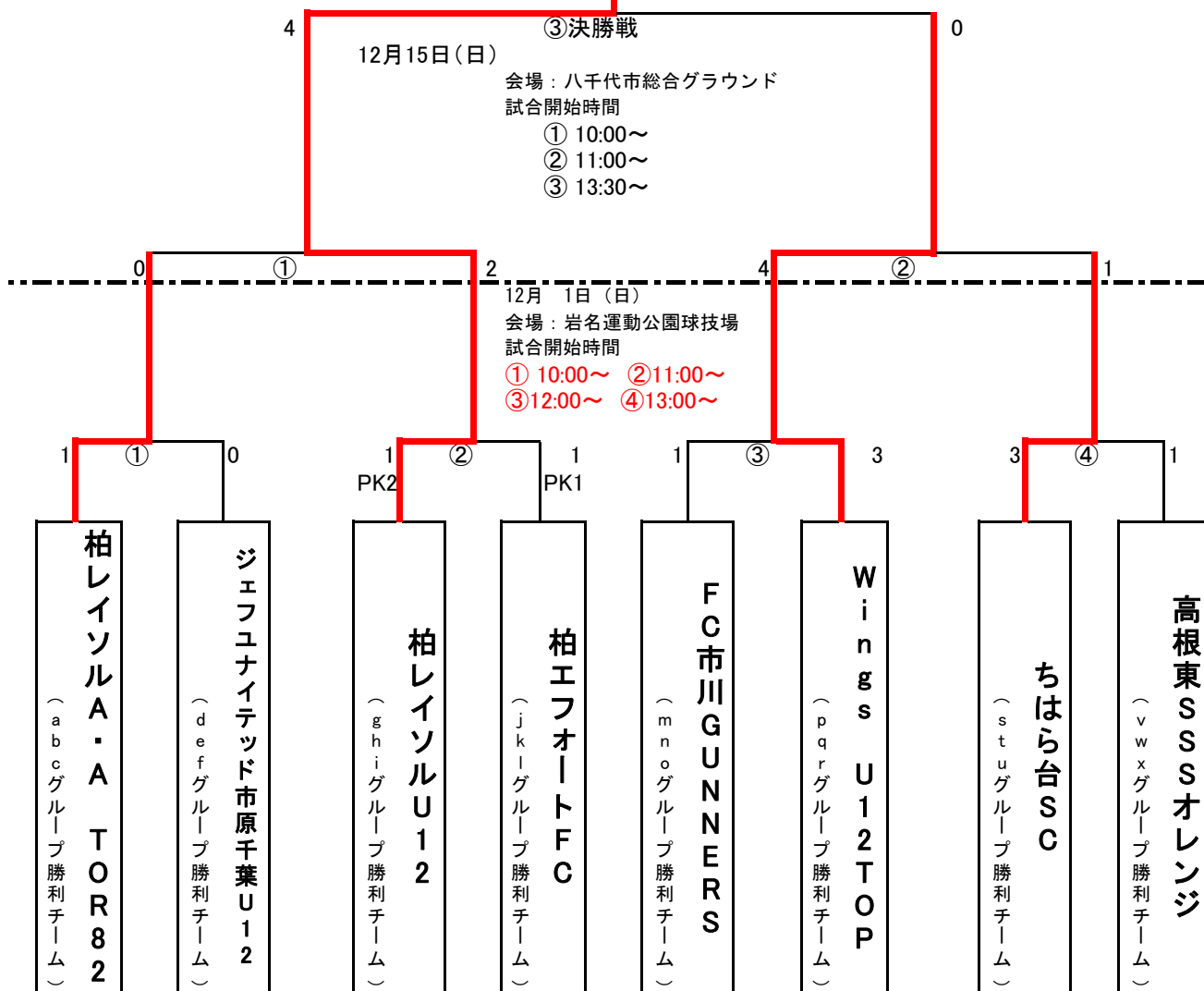


2019年度 千葉県少年サッカー選手権 5年生大会

柏レイソル U-12

Ⅲ・決勝トーナメント (20分 - 5分 - 20分)





第39回 千葉県少年サッカー選手権 5年生大会

Main match report table containing match details, player statistics, and a PK record table.

[試合時間] 前半 20 : 12 ( 0 : 12 )、後半 20 : 38 ( 0 : 38 )、延長前半 : ( : ) 後半 : ( : ) 試合所要時間 40 : 50 ( 0 : 50 )

[備考]

[警告理由] C1 : 反スポーツ的行為, C2 : ラフプレー, C3 : 異議, C4 : 繰り返す違反, C5 : 遅延行為, C6 : 距離不足, C7 : 無許可入, C8 : 無許可去
[退場理由] S1 : 著しく不正なプレー, S2 : 乱暴な行為, S3 : つば吐き, S4 : 得点機会阻止(ハンド), S5 : 得点機会阻止(他), S6 : 侮辱的発言, S7 : 警告2回による退場

# 2019年度 第34回千葉県少年サッカー選手権5年生大会（8人制サッカー）

## 決勝

日時 2019年12月15日（日曜日）

試合会場 八千代市総合グラウンド（人工芝）

天候： 晴れ 気温： 12.4℃

湿度： 31.5% 風： 弱風

キックオフ 13時30分

対戦チーム

柏レイソルU-12

VS

Wings U-12 TOP

試合結果

4	0	前半	0	0
	4	後半	0	
	—	延長戦	—	
	—	(PK)	—	

## 戦評

同日に行われた準決勝戦では、柏レイソルU-12（以下柏レイソル）は柏レイソル A.ATOR' 82 に、Wings U-12 TOP（以下Wings）は、ちはら台SCにそれぞれ勝利し決勝戦へと進出した。晴天空の下、八千代市総合グラウンドで決勝戦が行われた。

### 【前半】

柏レイソル17番永重選手のキックオフで前半戦が始まった。

前半2分最初のチャンスは柏レイソル26番須賀選手が28番米田選手へゴールエリア内へスルーパスを出したが、Wings GK1番内尾選手が好セーブ。

5分中央付近からWings 7番加藤大翔選手からのヒールパスで23番鈴木選手が抜け出しペナルティエリア付近からループシュートを試みたがわずかにクロスバーの上だった。

13分Wings 23番鈴木選手が相手にプレッシャーをかけクリアボールをブロック、こぼれ球を7番加藤大翔選手がダイレクトシュートするも柏レイソルGK 21番西川選手に阻まれた。

14分Wings コーナーキックからのこぼれ球を25番上田選手がドリブルで中央から横へ移動し、ペナルティエリア右45度からのシュートもGK真正面となった。

両チームとも得点を奪えずに前半が終了した。

柏レイソルは中央からサイドスペースへ、また同サイドから縦へ送るパスが多くみられたが、Wings 2番加藤璃久選手が中心となりシュートまで行かせないディフェンスがよく出来ていた。柏レイソルは前半シュート0となった。

## 【後半】

後半より柏レイソルは3名、Wingsは1名の選手交代を行い後半戦が開始された。

1分柏レイソル24番宮野選手が後方から右サイドへパス、後半から出場した10番長南選手が受け、センターライン付近からドリブルでペナルティエリア右45度まで持込シュートするもGK真正面となった。柏レイソルはこの試合初めてのシュートだった。

3分柏レイソル27番加茂選手が自陣内中央付近から28番米田選手とワンツーで抜け出し左足でシュートもGK真正面、交代した選手が立て続けにシュートまで出来ており、攻撃に変化がみられた。

### ※柏レイソル1点目

5分柏レイソルが右サイドからのコーナーキック、27番加茂選手のキックがファーサイドまで届き、24番宮野選手が一度前に出てから後方に下がりフリーでヘディングシュート、ニアサイドに決めて先制、ついに均衡を破るゴールを決め、1-0となった。

両チーム選手がゴール前に集中していたが24番宮野選手は一人だけ落下点をしっかり見極めての位置取りからのゴールは素晴らしかった。

7分柏レイソル28番米田選手が左サイドゴールライン付近からセンタリング、クリアのこぼれ球を10番長南選手が右足ダイレクトで強烈なシュートを打ったが、Wings GK 1番内尾選手の好セーブに阻まれた。

### ※柏レイソル2点目

11分柏レイソル27番加茂選手から縦へのスルーパス、これを10番長南選手が右足で冷静にゴールへ流し込み追加点、2-0とした。

14分Wings 25番黒沢選手からの縦パスに7番加藤大翔選手がトップスピードのままジャンプしながら右足アウトサイドで絶妙なトラップ、スピードを落とさずにシュートを打ったが枠外だった。

### ※柏レイソル3点目

16分柏レイソル20番上野選手が右サイドからセンタリング、クリアボールのこぼれ球を27番加茂選手が右サイドから左足で強烈なシュートをサイドネットに突き刺し追加点、3-0とした。

17分柏レイソル27番加茂選手の右サイドからのコーナーキックを、20番上野選手がGKの前でジャンプし競り勝ちヘディングシュートするも惜しくもクロスバーに当たった。

17分Wings 25番上田選手が中央からミドルシュートもGK真正面となった。

### ※柏レイソル4点目

19分柏レイソル27番加茂選手が右サイドゴールライン際で相手をかまし中央の15番阿出川選手へセンタリング、ヘディングシュートで追加点、4-0とした。

試合を通しての所感としては、柏レイソルは後半から交代して入った選手が中心となり縦のスペースへのパスが効果的になり、シュートまでいく場面を多く作っており、攻撃に見応えがあった。

またWingsは相手ボール保持者ヘディフェンス対応がしっかりできており、高いディフェンス力が選手に身につけていることが分かった。

準決勝進出したチームも含め、選手個々の技術力やチームとしてのレベルが高まっていることが感じられた大会であった。

各チームには来年度も更なるレベルアップを図り、今後も素晴らしいレベルの高いプレーをみせていただけることを期待したい。